

## 「山間部における超短波放送の難聴解消のための 周波数有効利用技術に関する調査検討」に関する報告会 ～FM放送用VHF帯STL/TTL技術のご紹介～

信越総合通信局は、本年度、「山間部における超短波放送の難聴解消のための周波数有効利用技術に関する調査検討会」(※)を実施しています。

放送は、今日、国民生活に密着した情報提供手段となっていますが、とりわけ、ラジオは、東日本大震災などの大きな災害時に「第一情報提供者」としていち早く災害情報を地域住民に提供し、地域住民の方々の安全・安心を確保する重要な役割を果たしました。

ラジオの電波は、山間部や離島等の地理的・地形的な要因による難聴が課題となっているほか、災害時のバックアップ回線の確保など、ラジオ放送のネットワークの強靱化が必要となっています。

さらにコミュニティ放送は、平時には地域の生活情報、災害発生時には被災情報や避難情報といった情報を提供しており、市町村合併等により、拡大した地域にも同様の情報を提供することが必要となっており、放送区域の拡大や受信状況の改善に対する期待が大きいものとなっています。

このような状況から、76MHzから90MHzの周波数帯を使用するFMの放送区域の確保と改善を図るため、FMの放送局の送信所までの番組伝送等を無線で行う技術(STL技術)に関して、伝搬特性などの調査検討を行うことで、地域の難聴解消とともに放送事業者等の負担軽減を図り、周波数を有効利用するための方策、技術的条件の策定に資することを目的に実施してきました。

本調査検討会では、最終の会合を3月12日に行い、検討結果について審議の上、取りまとめる予定ですので、その成果に関する報告会を以下のとおり開催することといたします。

本技術に関しては、現在、情報通信審議会において検討中のものであり、今後、技術的条件がまとまり、制度が整えば、送信所までの番組伝送をより安価で行うことが可能となり、全国のFM放送事業者ばかりでなく、これまで難聴となっていた地域にとっても朗報になるものと期待されています。

(※) 調査検討会は、座長：不破 泰(信州大学 教授)、座長代理：笹森文仁(信州大学 准教授)ほか放送事業者、放送機器事業者等、計11名で構成

### ◆ 開催日時、場所

日時 平成27年3月26日(木) 14:00～16:30

場所 新潟大学 駅南キャンパス 「ときめいと」 JR新潟駅直結

〒950-0911 新潟市中央区笹口1丁目1番地 プラーク1[2階]

<http://www1.niigata-u.ac.jp/tokimate/>

### ◆ プログラム 14:00～16:30

#### 【調査検討会の成果報告】

- ・(株)NHKアイテック
- ・(株)日立国際電気

#### 【技術的条件の検討状況】

- ・総務省 情報流通行政局放送技術課

### ◆ 募集人員…70名(先着順)

主催

総務省信越総合通信局

信越情報通信懇談会

## 成果報告会のお問合せ先、お申込み先

総務省信越総合通信局 無線通信部 企画調整課

〒380-8795 長野市旭町1108

電話：026-234-9953

e-mail: shinetsu-kikaku\_atmark\_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため「@」を「\_atmark\_」と表示しております。

## お申込み方法

※電子メールにより、以下の必要事項を記載し、上記アドレスあてに、3月19日（木）までにお申込み下さい。

※定員に達した場合にのみ、電子メールで連絡をいたします。

- ・ 件名：「STL報告会 参加申込み」
- ・ 参加者の氏名（複数の場合は、それぞれお願いいたします）
- ・ 勤務先（企業名、所属部署）
- ・ 参加者の連絡先（住所、電話番号）

※個人情報については、以下の目的以外には使用いたしません。

- ・ セミナー参加者名簿の作成及び参加確認
- ・ 自然災害等によるセミナーの中止又は、申込定員に達し聴講をお断りする場合のご連絡

## 会場案内図

※JR新潟駅 南口  
新幹線東口改札を出て徒歩3分

※本施設に専用駐車場はございません。  
公共交通機関または周辺の有料駐車場をご利用ください。（自己負担）

